

山行報告書

作成:2006年6月20日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	医王山(920m) [北陸の山]	目的[方法]	静かな山旅
期間	2006年6月17日(土) ~ 18日(日)	形態	日帰りハイキング(山麓テント泊)
参加人数	2人		

行動記録:

6/18(日) 薄曇り、無風、18 @西尾平

起床(4:30)

西尾平 PKG (600) =0:05= しがらくび PKG(605,620) -0:20- 分岐(640) -0:22- 覗乗越(702,710) -0:08- 分岐(718) -0:18- 大沼(736,755) -0:10- 分岐(805) -0:03- 三蛇ヶ滝(808,813) -0:04- 分岐(817) -0:23- 鳶岩(840,855) -0:23- ナカオ谷分岐(918) -0:12- ナカオ谷(930,948) -0:29- P771m(1017) -0:21- 中尾谷乗越(1038,1043) -0:05- 白兀山(1048,1103) -0:05- 分岐(1108) -0:22- しがらくび PKG(1130,1140) =0:05= 西尾平 PKG(1145,1149) =0:26[17.1km]= 石引温泉「亀の湯」(1215,1315) =0:15= 蕎麦「徳川」(1330,定休日) =0:35= 蕎麦「宮川」(1405,1445) =0:13= 金沢市内(1458,1620) =0:27[7.0km]= 金沢東 IC(1647) =0:56[99.6km,¥1,400]= 武生 IC(1743,1745) =0:56[96.3km,¥1,350]= 関ヶ原 IC(1841,1843) =0:07= 養老 SA(1850,1920) =1:02[87.2km,¥1,200]= 豊田東 IC(2022) =0:08= 岩津市民センター(2030)

概念図:



日誌:

前日の高落場山(1122m)から続く。

市道「百万石展望線」、「糸谷国見線」ともに通行止めなので、金沢市街を回ってアプローチする。

白兀平HY泊の計画であったが、トイレ使用不可、宿泊不適なので、西尾平 PKG(10台)泊に変更する。ここには休憩ベンチと水洗トイレが備わったまだ新しい東屋がある。

しがらくび PKG(5台)に車を止めて、大沼(おおいけ)と鳶岩を巡る周回に出発する。

登山道、道標とも良く整備されている。但し鳶岩まで続く岩稜の鎖場とナカオ新道(中尾尾根)は「初心者不可」となっている。特に雨天の場合は岩場と痩せ尾根での滑落、ナカオ谷の通過に注意が必要である。

しがらくびから階段を少し登れば、西尾平から続く登山道に合流する。塹壕のような登山道が白兀山と大沼の分岐まで続く。分岐を左に折れ覗乗越を経由して大沼まで雑木林を降る。ブナ林もあるが昨日の大滝山ブナ原生林には遠く及ばない。イワウチワ、ショウジョウバカマ、サンカヨウなどのお花の季節も過ぎており、時折ササユリが甘い香りで迎えてくれるのがせめてもの慰めか…。しかし、大沼に至り、北アルプスの高天原のような別天地に感動する。静寂の大沼、対面にそそり立つ鳶岩、大沼を取り囲むように林立するホオノキの大木、なんとも神秘的な景観である。晴天よりも霧に煙る雨降りの方が一層趣が出るように思う。

鳶岩まで岩場の急登が続くが、岩・鎖とも安定しているので注意して登れば問題ない。ナカオ谷から中尾尾根への取付きは、道標とトラロープで迷わないように整備されている。P771mまでの急登を登り切れば中尾谷乗越までは楽勝である。白兀山には展望台があり、方位盤が据えられている。今日は白山まで遠望が利かないのが残念である。

感想:

白山展望は叶いませんでしたが、神秘的な雰囲気の大沼が気に入りました。次回はお花の季節に合わせたいですね。